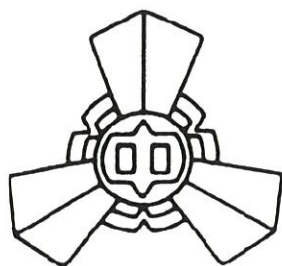


男鹿市立潟西中学校



●校章の由来

八郎潟に浮かぶ白帆に波頭を
図案化し、円は円満、中は中学
校を意味し、また人間のふむべ
き中道を意味する。行徳は基本
である。三角形で安定した形で
あり、どっしり落ち着いて知を
磨き、心豊かに、意思を持つ子
どものシンボルを意味する。三
つの帆は知(真)情(善)意(美)。
人間の求めている最高の精神を
求めている。

- 開校年月日 昭和30年4月1日
- 学校所在地 秋田県男鹿市福米沢字八卦1番1号
- 電話番号 0185-46-2330

男鹿市立潟西中学校校歌

う つりゆく よよのすがたを みちびいてー
みどりまつかぜ はっけだ い わこうど われらは
まなびやに かつせつたえ りそうを は
い ま あたらしく っげー てた
っ そびえたちたり そびえたちたり
がたにし ちゅうがく ああ ゆーれーらー

●校章制定

昭和30年7月14日

●校歌制定

昭和31年10月10日

●校章のデザイン・アイディア

中田 金蔵

●校歌の由来

太平の
嶺はあかるく はばたいて
招き伝えし 生きる道
若人われらは まなびやに
噴き揚ぐちから のぞみをば
いざ美しく 彩らん
そびえ立ちたり そびえ立ちたり
潟西中学 ああわれら

あこがれに
郷土のゆくては かがやいて
光たなびく 八郎潟
若人われらは まなびやに
さきがけはげむ 自立こそ
おたのもしく つちかわん

うつりゆく
世々のすがたを みちびいて
みどり松かぜ 八卦台
若人われらは まなびやに
風雪耐える理想をば
いまあたらしく 告げて立つ

校歌

作詞 小山田 禎千吉
作曲 小林 千吉